

グリーンライブセンターの改修背景と施設概要

背景

多摩市立グリーンライブセンターは、「多摩グリーンライブ構想（平成元年5月、住宅・都市整備公団）」により構想が打ち出され、その後「多摩市グリーンライブ計画」に基づいて建設が行われました。

「みどり豊かな快適なまちづくり」をめざし、都市の緑化を推進していくためのみどりの拠点として、平成2年に開設され32年が過ぎようとしています。

こうした中で、グリーンライブセンターが立地する多摩中央公園においては、パルテノン多摩リニューアル工事や中央図書館新築工事も進められています。これら周辺事業の集大成として、多摩センター地区の賑わいの核となり、生まれ変わる多摩ニュータウンの象徴となり得る本公園の改修工事を実施し、公園という大きな受け皿を再整備することを計画しています。

グリーンライブセンターにおいても、施設の老朽化等が顕在化しており、多摩中央公園とあわせて改修工事を実施し、知識や情報を手に入れることができる「みどりの活動拠点」機能を発揮するため、ガーデン部の整備の方向性を取りまとめることとしました。

施設の概要

(1) グリーンライブセンター

位置：東京都多摩市落合2-35（多摩中央公園内）

名称：多摩市立グリーンライブセンター

開園：平成2年4月29日（みどりの日）

施設概要：鉄筋コンクリート造（一部鉄骨）

平屋建て（一部2階建）

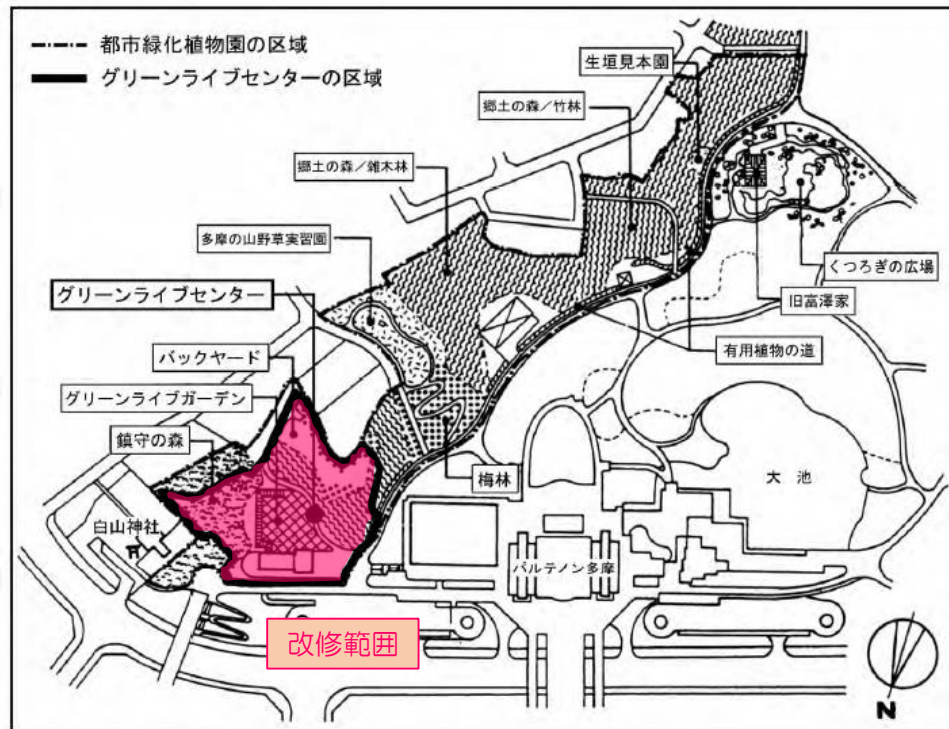
グリーンライブガーデン

鎮守の森

バックヤード

（改修対象外※1）

※1 建物部はPark-PFI事業者にて改修整備



グリーンライブセンターのみどりに関する情報発信及び活動拠点

グリーンライブセンターとは

グリーンライブセンターは緑化推進の普及啓発に加え、みどりに関する活動の活性化のため、人材育成やリーダー養成を始めとして、みどりに関する様々な個人や団体間の情報交換を担っています。また、みどりと遊び方、親しみ方、楽しみ方などを提案するとともに、みどりについての知識や情報を提供しています。

一方で、グリーンライブセンターの管理運営については、今までの市の直営による管理運営方式から指定管理をはじめとした管理手法への見直しが求められていました。こうした状況を受け、平成23年4月から「多摩市・恵泉女学園大学・多摩市グリーンボランティア連絡会（以下、多摩市GV連絡会）」の三者連携により、今まで以上に誰もが参加（利用）できるスペース、皆で集い楽しい発見に出会える場所として、運営を再構築しました。

■多摩市

施設全般の管理、全体調整

■恵泉女学園大学

グリーンライブガーデン、ピラミッドギャラリー及びバックヤードの植栽等の展示と管理、緑化相談及び指導等業務、講座及び催し物に関する企画・立案及び運営管理、園内ボランティアの活動支援

■多摩市GV連絡会

市民のグリーンボランティア活動の促進を目指し、多摩市と協働して多摩市グリーンボランティア講座及び催し物に関する企画・立案及び運営業務、ボランティアグループの結成・活動の支援及び人材育成、自然環境保全に関する知識の普及と啓発

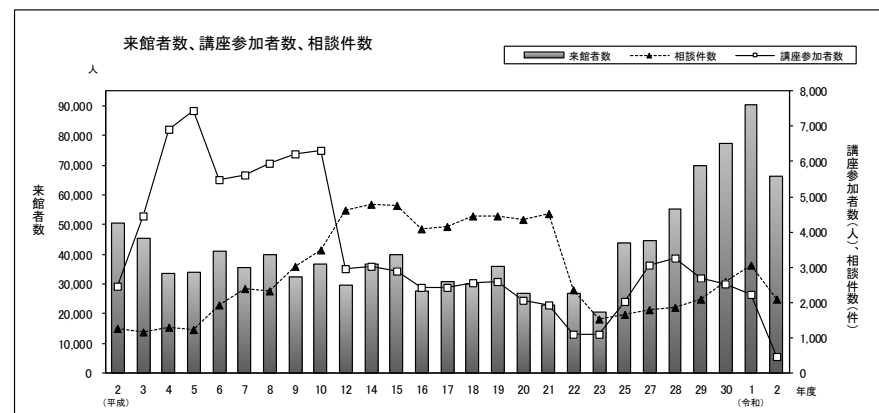
利用状況の推移

年度(平成)	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
来館者数	50,555	45,233	33,437	33,819	40,881	35,472	39,886	32,241	36,862	33,634	29,493
講座等数	119	267	433	446	310	291	297	300	321	300	180
講座等参加者	2,461	4,464	6,906	7,449	5,489	5,626	5,963	6,211	6,312	4,868	2,965
市内在住者	1,868	2,984	3,757	4,677	3,429	3,548	3,702	3,392	3,112	2,580	1,769
市外在住者	593	1,480	3,149	2,772	2,060	2,078	2,261	2,819	3,200	2,288	1,196
一件当たりの出席者	20.7	16.7	15.9	16.7	17.7	19.3	20.1	20.7	19.7	16.2	16.5
相談件数	1,255	1,160	1,307	1,238	1,933	2,383	2,332	3,036	3,483	3,435	4,606
市内在住者	920	950	1,042	966	1,403	1,788	1,558	1,674	1,994	2,010	1,965
市外在住者	242	201	265	242	530	595	774	1,362	1,489	1,425	2,641
一日当たりの相談数	4.1	3.5	3.9	3.7	5.8	7.2	7.0	9.2	10.5	10.4	13.9

年度(平成)	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
来館者数	33,432	36,646	39,726	27,735	30,579	30,125	35,851	26,727	23,030	26,695	20,332
講座等数	127	155	155	142	150	160	150	138	117	71	91
講座等参加者	2,398	3,026	2,880	2,431	2,417	2,567	2,597	2,049	1,928	1,104	1,109
市内在住者	1,724	2,203	2,152	1,932	1,819	1,857	1,938	1,533	1,437	892	684
市外在住者	674	823	788	499	598	710	659	516	491	212	425
一件当たりの出席者	18.9	19.5	18.6	17.1	16.1	16.0	17.3	14.8	16.5	15.5	12.2
相談件数	4,935	4,781	4,737	4,101	4,140	4,446	4,446	4,337	4,509	2,354	1,519
市内在住者	2,369	2,891	3,005	2,767	2,754	3,135	3,078	3,047	3,436	1,603	1,197
市外在住者	2,566	1,890	1,732	1,333	1,386	1,311	1,367	1,289	1,073	751	322
一日当たりの相談数	16.7	16.2	16.1	13.9	14.0	15.1	15.1	14.8	15.3	13.6	8.0

年度(平成)	24	25	26	27	28	29	30	令和1	令和2	計	年平均
来館者数	39,539	43,790	43,895	44,517	55,161	69,966	77,534	90,212	66,268	1,273,273	41,073
講座等数	144	142	171	172	202	186	159	170	28	6,094	197
講座等参加者	1,817	2,019	2,669	3,042	3,264	2,704	2,541	2,239	449	103,964	3,354
市内在住者	971	1,186	1,586	1,595	1,797	1,611	1,386	1,119	381	64,621	2,085
市外在住者	846	833	1,083	1,447	1,467	1,093	1,155	1,120	68	39,403	1,271
一件当たりの出席者	12.6	14.2	15.6	17.7	16.2	14.5	16.0	13.2	16.0	16.7	16.7
相談件数	1,571	1,668	1,637	1,807	1,846	2,088	2,589	3,067	2,082	88,828	2,865
市内在住者	1,210	1,327	1,300	1,353	1,465	1,625	1,920	2,522	1,491	59,765	1,928
市外在住者	361	341	337	454	381	463	669	545	591	28,928	933
一日当たりの相談数	8.0	8.6	8.3	9.1	9.5	10.9	13.3	15.9	12.9	10.8	10.8

※平成22年度から緑化相談は平日・祝日のみ実施。



グリーンライブセンターの運営・展望

三者連携での運営・進展

多摩市立グリーンライブセンターは、平成23年4月から、市民が関わる「みどりの拠点」として、「花と緑のオアシス ～集い・憩い・学びの拠点～」をキャッチフレーズに、みどりと水の保全に関わるボランティア団体で構成された「多摩市グリーンボランティア連絡会」、園芸部門に専門性を持つ「恵泉女学園大学」、そして当初からの運営者である「多摩市」の三者が、それぞれの得意分野を活かしながら運営しています。

《空間の活用》としては、恵泉女学園大学がボランティアの協力を得ながらグリーンライブガーデンで80種類の身近なバラや四季折々の植物を栽培し、日常の管理を行っています。また、恵泉女学園大学と市が協働して、市内の自治会や小中学校の花壇を管理する市民団体を応援するために、講座での指導やサポートを行っています。さらに、多摩市GV連絡会はグリーンボランティア活動のサポートを行うとともに、多摩市グリーンボランティア講座を多摩市と多摩グリーンボランティア森木会と協働して実施し、グリーンライブセンターを中心に、みどりと水を愛する方々の「集い・憩いの拠点」として、交流の場となっています。

《企画・運営》においては、雑木林の保全活動を行うグリーンボランティア育成の初級・中級講座の実施、恵泉女学園大学の公開講座としてバラやハーブの育て方と利用方法、市民企画による身近な木の実や花を使ったクラフト講座など、市民向けの講座・イベントなど三者の特徴を生かして実施し、みどりに関するさまざまな「学びの拠点」となっています。

今後は、多摩市の「みどりの拠点」として、「集い・憩い・学び」の場に、「多摩しみどりのルネッサンス」に沿って、市民や市民活動の「みどりととの関わり」を実現する中心的な施設として、三者の連携により企画運営を展開していきます。さらに、グリーンライブセンターでの学びや技術等が市内へのみどりの普及につながるような仕組みを構築していきます。

機能の強化

「花と緑のオアシス ～集い・憩い・学びの拠点～」に「愛でるみどりから関わるみどりへ」の活動拠点の機能を強化する。

- ① ガーデン・温室の植物の管理 おもてなしと憩いの場の提供
- ② グリーンライブセンター内のボランティア活動の充実
集い・学びの場の提供、関わるみどりの実現
- ③ 恵泉女学園大学の公開講座、市民のための市民企画の講座・イベントの実施
- ④ みどりに関わる市民ボランティアの育成
- ⑤ 花とみどりの相談、みどりに関する情報の提供
- ⑥ みどりに関わる市民ボランティア活動のサポート



緑の探検隊第4回
クモの巣の不思議を探検してみよう！



第20期初級講座第1回

再オープンに向けた取り組み

- ① 再オープンに備えた植物の養生と準備
- ② 市民が長年愛着をもって親しみ、さらに市民ボランティアと協働し関わって作り上げてきた現グリーンライブガーデンを引き継ぐとともにさらにブラッシュアップさせたガーデン作りの計画と準備
- ③ 市民企画講座・イベントを充実するための検討
- ④ 多摩市内のみどりに関する市民ボランティア活動の拠点づくりの強化
- ⑤ 三者連携の強化のため、三者一体となって再オープンに取り組む

グリーンライブセンターの役割・機能と目指す姿

第五次多摩市総合計画・第3期基本計画 目指すまちの姿6 『人・自然・地球 みんなで環境を大切にすまの姿』の実現

みどりのボランティアの育成と市民協働の場として、市民や市民活動の「みどりと関わり」を推進する施設として、グリーンライブセンターを活用していきます。

SDGsに関する主な取り組み項目



グリーンライブ計画(平成29年策定)でのグリーンライブセンターの主な活動領域

プロモート活動

遊ぶ楽しみ、つくる楽しみ、守り育てる楽しみの伝達

ディスプレイ活動

企画展示・屋内展示・屋外展示

インフォメーション活動

相談・指導・談話、閲覧、情報の収集・案内・発信、調査研究

グリーンライブセンターが果たす役割、機能

みどりや水・生き物などを通じた「集い、憩い、学び、交流する」場

みどりや水・生き物などの情報交流や情報集積・情報活用の場

- ・ 学びの拠点
- ・ 知識の習得の場
- ・ 情報の交流拠点
- ・ みどりと水についての学習
- ・ 活動情報の共有

地域のみどり作りが支援できる体制

- ・ みどりの担い手育成
- ・ ボランティア団体の組織の充実強化
- ・ 人材の発掘、確保

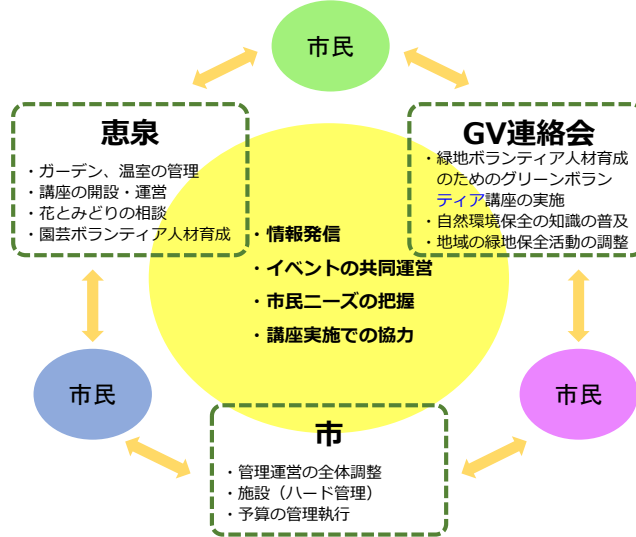
身近でありながらも来館者が憧れる空間

- ・ 地域に発信する身近な見本園
- ・ みどりの中での憩いの場
- ・ 中央公園や周辺施設との関連から生まれる複合的価値のある居場所

「愛でるみどりに関わるみどり」の推進

グリーンライブセンターの現在の運営

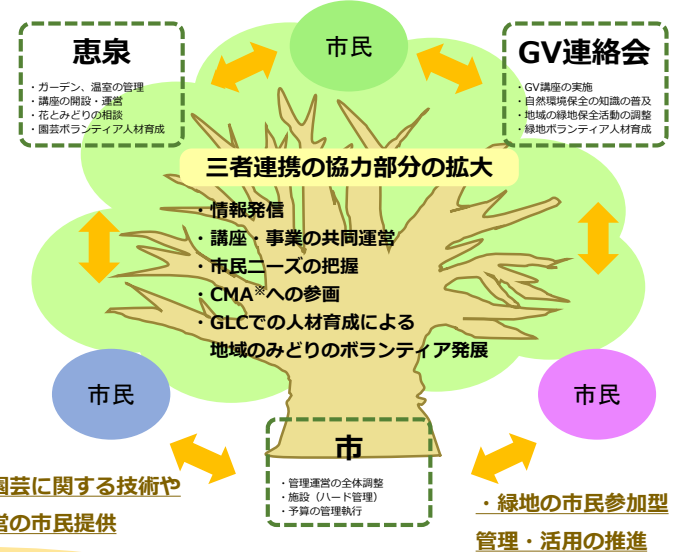
市・恵泉・GV連絡会がそれぞれの得意分野を活かし、三者が連携して運営しています。



グリーンライブセンターのめざす姿

改修後には、三者の連携・協力をより充実させ、市民のみどり活動に貢献します。

市民との連携・協力の拡大



三者連携だからこそできること!

三者での取り組みを市民自らの暮らしや地域での活動に生かす

- ・ 市民(ボランティア団体、大学等)参加型による施設の管理、事業の運営
- ・ みどりの講座によるまちのみどりの担い手の育成

※CMAとは多摩市キャンパス・マネジメント・アソシエーションの略で、多摩センター地区の活性化に係る施設の管理・運営者や近隣大学等の施設利用者が相互に連携・調整しながら、事業を実行・調整する組織。

グリーンライブセンター(ガーデン部)改修の基本的な考え方・基本方針

【改修の基本的な考え方】

- ◆ 「集い・憩い・学びの拠点」をコンセプトとし、市民の「みどり」との関わりや拠点機能の拡張・向上を目指す。
- ◆ 現バックヤードは従来の機能に加え、「みどり」と関わるための体験やボランティア活動のサポート、交流の場としての機能を創出する。
- ◆ 3つに区分した各エリアの機能・魅力を最大限発揮するため、エリア間の動線を確保し、回遊性を高める。

改修基本方針

① 拠点機能の充実

- ・ボランティア団体の活動の支援・活動の充実
- ・バックヤードの機能発揮
- ・みどりの活動の情報集積
- ・中央公園内公共施設との連携強化

② 自然とのふれあい

- ・四季折々の変化
- ・子どもの育成、学びと体験の場
- ・講座の充実

③ 魅力の向上

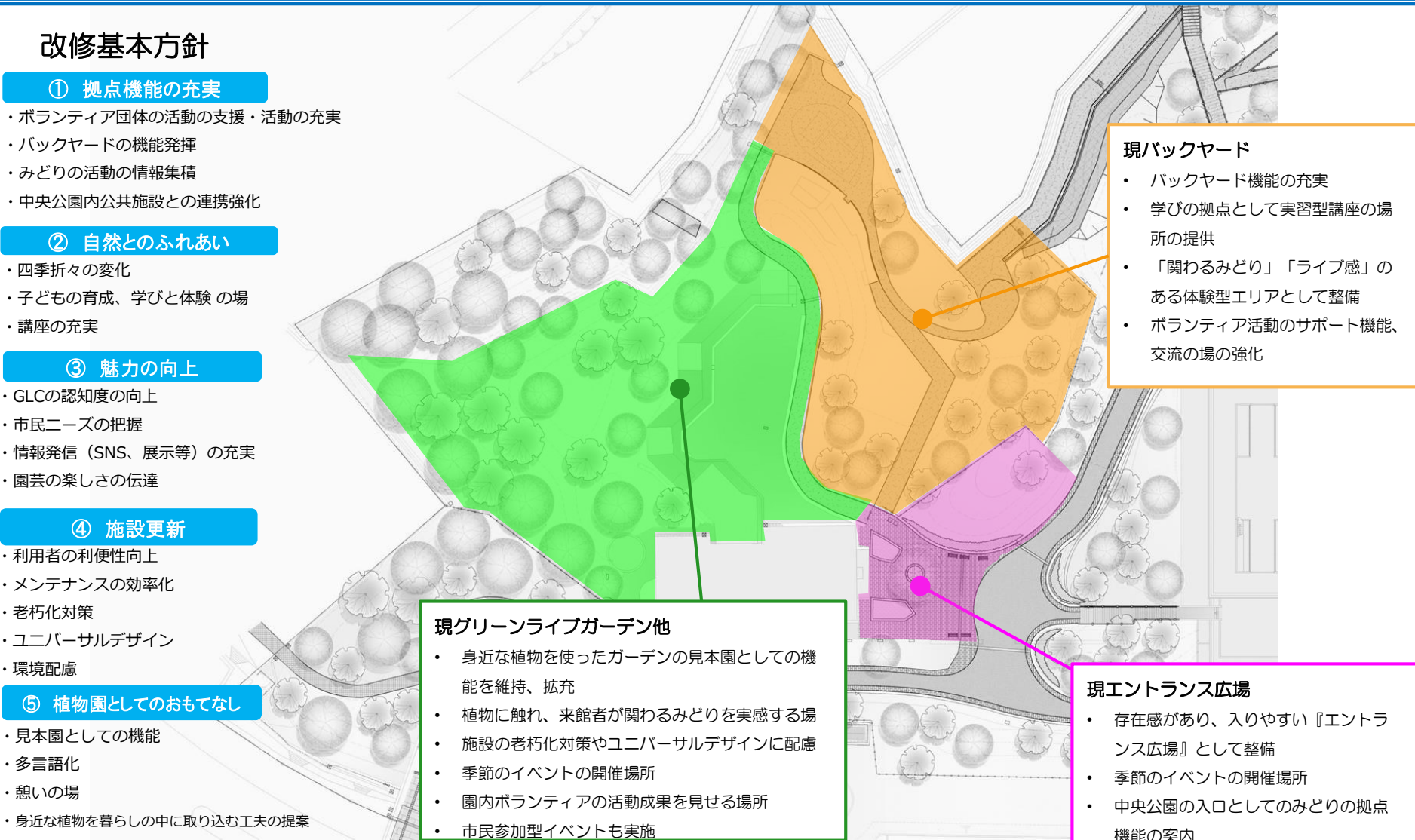
- ・GLCの認知度の向上
- ・市民ニーズの把握
- ・情報発信（SNS、展示等）の充実
- ・園芸の楽しさの伝達

④ 施設更新

- ・利用者の利便性向上
- ・メンテナンスの効率化
- ・老化化対策
- ・ユニバーサルデザイン
- ・環境配慮

⑤ 植物園としてのおもてなし

- ・見本園としての機能
- ・多言語化
- ・憩いの場
- ・身近な植物を暮らしの中に取り込む工夫の提案



現バックヤード

- ・バックヤード機能の充実
- ・学びの拠点として実習型講座の場所の提供
- ・「関わるみどり」「ライブ感」のある体験型エリアとして整備
- ・ボランティア活動のサポート機能、交流の場の強化

現グリーンライブガーデン他

- ・身近な植物を使ったガーデンの見本園としての機能を維持、拡充
- ・植物に触れ、来館者が関わるみどりを実感する場
- ・施設の老化化対策やユニバーサルデザインに配慮
- ・季節のイベントの開催場所
- ・園内ボランティアの活動成果を見せる場所
- ・市民参加型イベントも実施

現エントランス広場

- ・存在感があり、入りやすい『エントランス広場』として整備
- ・季節のイベントの開催場所
- ・中央公園の入口としてのみどりの拠点機能の案内

グリーンライブセンター(ガーデン部)整備イメージ

- ・ボランティアだけでなく、一般市民も育苗の様子やファーム体験ができる環境を整備
- ・三者及び市民の休憩場所（パーゴラ）を整備
- ・みどりの普及を目指したみどりに関わるエリアとして市民に開かれた空間を創出

【改修基本方針】

- ②自然とのふれあい：「子どもの育成、学びと体験の場」
- ③魅力の向上：「園芸の楽しさの伝達」
- ⑤植物園としてのおもてなし：「憩いの場」

- ・だれもが公園を快適に利用できる動線と管理者に特化した動線を整備し、状況に応じた活用や回遊性を向上

【改修基本方針】

- ②自然とのふれあい：「子どもの育成、学びと体験の場」
- ③魅力の向上：「園芸の楽しさの伝達」
- ④施設更新：「利用者の利便性向上」「ユニバーサルデザイン」

- ・ガーデンイベントや子ども達が憩える芝生ステージを設置
- ・芝生ステージは地面から40cm程度高くなっているが、車椅子でも行ける様なだらかなスロープを現在ウッドデッキのある場所に設置
- ・ガーデンエリアとして、屋根や椅子を設置し、市民の憩いの場を提供

【改修基本方針】

- ②自然とのふれあい：「子どもの育成、学びと体験の場」「講座の充実」
- ④施設更新：「利用者の利便性向上」「メンテナンスの効率化」「老朽化対策」「ユニバーサルデザイン」
- ⑤植物園としてのおもてなし：「憩いの場」

- ・三者専用のバックヤードを設置。（規模に関しては継続協議）
- ・農業・園芸資機材など安全上の管理が必要なものを倉庫などに収納
- ・GLCとGVのボランティアサポーターの軽作業場
⇒ ボランティア活動の行いやすさ・安全と一般来訪者の安全の確保

【改修基本方針】

- ①拠点機能の充実：「ボランティア団体の活動の支援・活動の充実」「バックヤードの機能発揮」

- ・管理用車両に対応した道路の設置。
- ・三者のみならず公園管理者や指定管理者等の利用も想定
- ・GLCとGVのボランティアサポーターもアクセスし易い環境整備

【改修基本方針】

- ①拠点機能の充実：「ボランティア団体の活動の支援・活動の充実」「バックヤードの機能発揮」

- ・活用の自由度が高い作業広場を設置
- ・作業場や講座等に利用ができる空間を創出
- ・障がいのある方やGV、患泉など関わる方の駐車スペースとしての活用も可能
- ・作業に必要な電源を確保

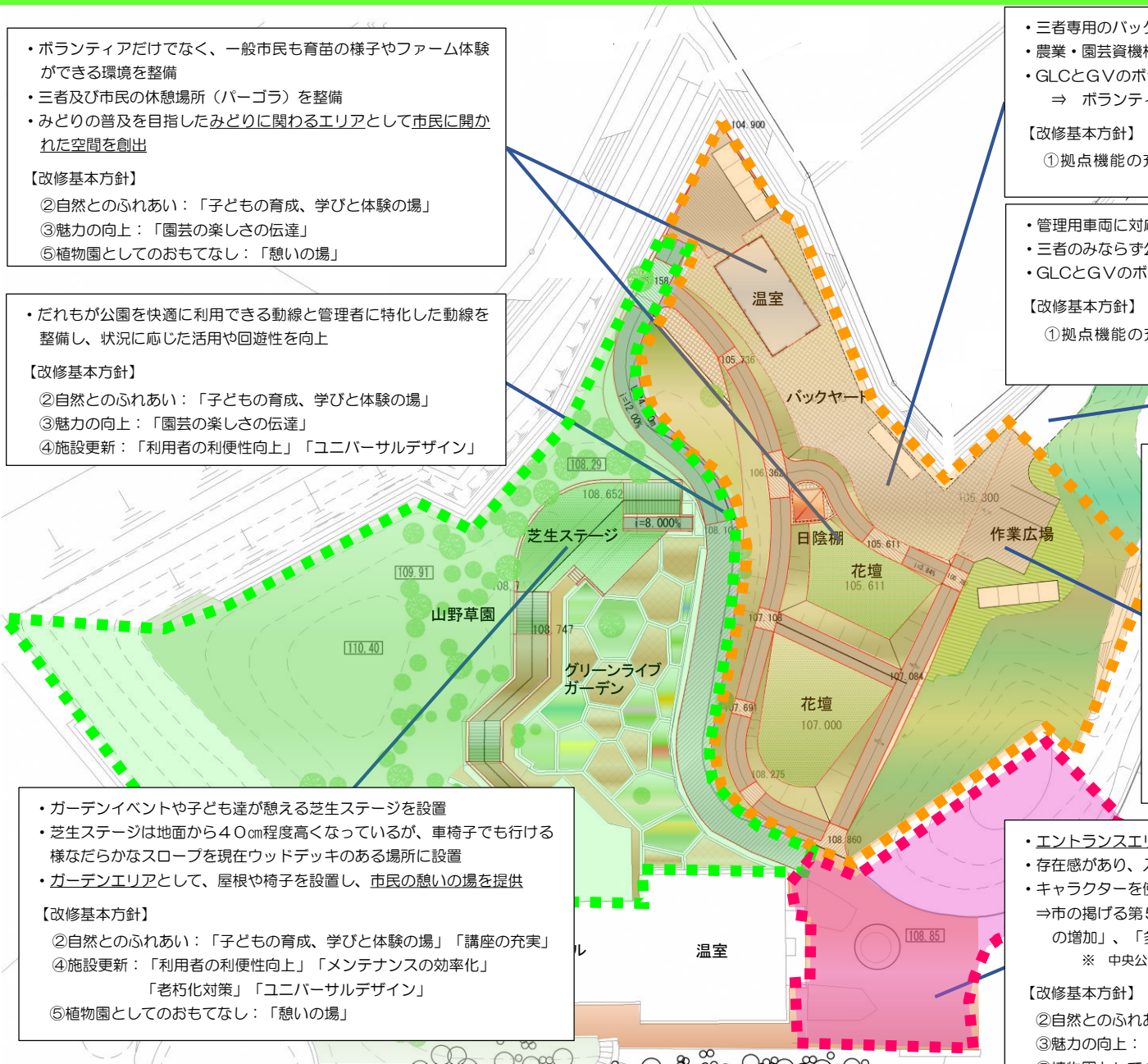
【改修基本方針】

- ①拠点機能の充実：「ボランティア団体の活動の支援・活動の充実」「バックヤードの機能発揮」
- ②自然とのふれあい：「子どもの育成、学びと体験の場」「講座の充実」
- ④施設更新：「利用者の利便性向上」「ユニバーサルデザイン」
- ⑤植物園としてのおもてなし：「憩いの場」

- ・エントランスエリアとしての機能を検討
- ・存在感があり、入りやすい『エントランス広場』として整備
- ・キャラクターを使用したフォトスポットの設置の検討
⇒市の掲げる第5次総合計画における「シティセールス」や「定住人口の増加」、「多摩市らしいまちのイメージ」の実現
※ 中央公園改修とのバランスもふまえながら詳細検討を行っていく

【改修基本方針】

- ②自然とのふれあい：「子どもの育成、学びと体験の場」「講座の充実」
- ③魅力の向上：「GLCの認知度向上」
- ⑤植物園としてのおもてなし：「憩いの場」



グリーンライブセンター(ガーデン部)イメージパース



グリーンライブセンター(ガーデン部)今後の進め方

